令和８年度　第２回港区区政会議　安心安全・まちづくり部会　議事録

１　日　時　令和８年１０月８日（木曜日）　午後７時００分～８時００分

２　場　所　港区役所　５階会議室

３　出席者

（委　　員）対面：西村委員、松尾委員、後藤委員、野村委員

（関 係 者）対面：港警察署　岡田警部補

港消防署　池田消防司令

（港区役所）対面：間嶋区長、菅原副区長、五十嵐協働まちづくり推進課長、

今田エリア開発推進担当課長、武内総合政策担当課長、

田中協働まちづくり推進課長代理

４　議　題

（１）　令和９年度の予算・事業の方向性

（２）　新たな「区民まつり」のアイデア募集

〇田中協働まちづくり推進課長代理　皆様こんばんは。定刻となりましたので、令和８年度第２回港区区政会議安心安全・まちづくり部会を開催いたします。本日の司会を務めます、協働まちづくり推進課長代理の田中です。どうぞよろしくお願いいたします。港区区政会議は、港区区政会議運営要綱第５条に基づき開催しており、専門的なご意見をいただくため３つの部会を設けておりますが、本日はその１つである安心安全・まちづくり部会を開催いたします。それでは、まず初めに、会議に先立ちまして、間嶋区長より開催のご挨拶を申し上げます。

〇間嶋区長　皆さん、改めまして、こんばんは。港区長の間嶋でございます。本日お忙しい中、また夜間の時間にも関わらず、この第２回港区区政会議安心安全・まちづくり部会にご参加くださいまして、本当にありがとうございます。また、平素より地域活動、そして防災、防犯活動、まちづくり活動などを通じて、港区政の推進に多大なるご尽力をいただいておりますことを厚く御礼申し上げます。この区政会議ですけども、改めまして、施策や事業について企画立案段階から、区民の皆様、皆様方が区民の代表という形で区政会議委員に就任されているわけですけども、そのようなご意見をお聞きし、区政の上に反映していき、その成果や課題について評価をいただく大切な場でございます。今日の部会ですが、令和９年度、来年度の予算・事業の方向性、これから我々、財政局とか、そういった形で予算要求もしていくわけですが、その辺の現時点での方向性、そして皆様方にアイデアを出していただきたいなと思いまして、新たな区民まつりのアイデア募集の２点についてご説明させていただき、ご意見を賜りたいと思います。この中で新たな区民まつりのアイデアにつきましては、今回、１１日に区民まつりがあるわけですけども、もう５２回目を迎えるというふうなことで、昨年は万博と絡めたこともありまして、１万１，０００人もの参加者になっております。ただ、こういったイベントごとというのは、立ち上げる時というのは色んなアイデアが出てくるんですけども、一旦立ち上げてしまいますと、どちらかというと同じパターンになってしまうというようなこともありますし、特に数年前のコロナの影響で、事業はある程度縮小せざるを得ないというような状況にも追い込まれたということもあります。従来のような形で、また戻すということはなかなか難しいかもしれませんけども、新たな視点で、やり方とか、そういうことのアイデアを出していただければと思います。どうしても行政が中心になってしまいますと、行政目線でやってしまい、実は区民の皆様方のニーズとミスマッチが起こってしまっているかもしれないなということもご

ざいます。そういったこともありまして、より一層、活気あふれる、賑わいのある区民まつりの実施と、もう１つ、それを通じた地域コミュニティの育成のためには、どういったやり方の工夫が必要なのかと、皆様方の立場からご意見をいただければ幸いでございます。皆様方のご意見を今後の区政運営に生かし、より安心して暮らせるまち、魅力あるまちづくりに繋げていきたいと考えております。実は今日、まちづくりの部会ということで、少しアナウンスをしておこうかなと思ってるんですが、港区では、過去の災害の経験を踏まえまして、各地域で防災活動、防災訓練、防災学習がかなり盛んに行われておりまして、しかも他の区に比べて、例えば避難所の運営の実践をしているという、かなり進んだ区であると私は思っています。そういった中で、区としても何かできないだろうかと考えておりまして、早ければ今月、遅くとも来月に、災害が発生した時の初期初動の YouTube 発信を行っていきたいと考えております。区のホームページからということですが、なぜそういうようなことにしたかと言いますと、各地域で行われているその訓練というのがかなり進んでいて、初期初動の段階の避難訓練的というところは、もうかなり以前にされているのかなと思います。改めて、南海トラフ巨大地震がクローズアップされてますけども、最近は特に線状降水帯の関係で、大雨、豪雨によって、内水氾濫の心配がありますし、台風も大型化しています。現に８年前の平成３０年に、台風２１号がございまして、港区では人的被害も含めた被害が起こっております。そういった中で、まず皆様方、初期初動の段階で、よくあるのが避難所というところを言われるんですけど、本当にその最初の段階で避難所に行くのが適当なのか、必要な場面もありますけども、色んな避難の仕方があるのではないか、あるいは避難場所と避難所の違い自身、我々の啓発不足で、なかなかご理解しづらいところもあるんではないかなと、そういうことも考えておりますし、この５月に防災気象情報がだいぶ見直されまして、危険警報というのが新たにできました。一方で、気象庁が発表する警報と、我々が発表する避難情報が非常に分かりにくく、混乱を引き起こしてしまうのではないかという、私自身危惧をしておりまして、そういった観点から、YouTube の発信をさせていただこうかなと思っております。一度、オープンになった時に見ていただいて、何かご意見があればと思っておりますので、よろしくお願いしたいと思います。また、全体会でも少しこの辺りについて改めてさせていただこうかなと思っております。限られた時間でございますが、忌憚のないご意見を賜りますよう、改めてお願い申し上げまして、開会にあたりましてのご挨拶と

させていただきます。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

〇田中協働まちづくり推進課長代理　間嶋区長、ありがとうございました。続いて出席状況をご報告いたします。区政会議は、区政会議の運営の基本となる事項に関する条例により、委員定数の２分の１以上の出席により成立するとなっております。委員の定数が８名のところ、ただいま４名のご出席をいただいております。委員の２分の１以上の出席がございますので、この会議は有効に成立していることをご報告いたします。次に、会議運営上の注意事項をお伝えいたします。本会議は公開としております。会議の様子は動画撮影を行い、港区役所の YouTube アカウントにおいて一定期間掲載します。また、後日、配付資料とともに会議録を公表することとしております。会議録作成のため録音いたしますので、ご発言の際は必ずマイクをご使用ください。区政会議の見える化の推進として、全区的な取り組みですので、併せてご理解ご協力をお願いいたします。続きまして、資料の確認をいたします。まず、事前に皆様にお送りしている資料が、令和９年度の予算・事業の方向性、新たな区民まつりのアイデア募集、この２つでございます。このうち、新たな区民まつりのアイデア募集の資料につきましては、一部修正がございましたので、本日、新しい資料を机上にご用意しております。議題（２）の際には新しい資料をご覧ください。次に、机上に置いております当日配付資料が、右肩に番号を付けておりまして、①当会議の次第、②資料一覧表、③当部会の委員名簿、④本日の配席図、⑤第５２回港区民まつりパンフレット、⑥広報みなと１０月号表紙でございます。以上が本日の資料です。事前に送付しております資料と本日配付の資料は全てお手元にお揃いでしょうか。ない方がいらっしゃいましたら、挙手でお知らせください。ありがとうございます。それでは、本日の議事は次第の通りでございますが、全て説明は短めに、議論や質疑を長めにとってまいりたいと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。それでは、これより本日の議事に入らせていただきます。西村議長、どうぞよろしくお願いいたします。

〇西村議長　はい、皆様こんばんは。議長として進行役を務めさせていただきます、西村でございます。よろしくお願いします。区民の意見、ニーズを区政に反映していくためにも、積極的にご意見をいただきたいと思いますので、よろしくお願いします。それでは議事に入ります。議題（１）について、区役所から説明をお願いいたします。

〇五十嵐協働まちづくり推進課長　協働まちづくり推進課長の五十嵐です。議題の１つ目、令和９年度予算・事業の方向性について、今回の区政会議でご説明する趣旨をお伝えします。そもそも区政会議は、区役所が既に行ったこと、また、これから行おうとしていることに対して、委員の皆様からご意見をいただく場として開催をしています。ちょうど今の時期は、来年度の事業について、どのように行おうかと検討しているところであり、今回の区政会議の各部会において、その概要を説明し、ご意見を求めたいと考えております。具体的には、区民の暮らしに関わりの深い事業を中心に、今年度の取り組み内容や課題、それを踏まえた来年度の方向性をお示ししますので、説明を聞いて疑問に思われたことなどを、率直にお聞かせいただければと思います。お伺いしたご意見の全てを反映することは難しい面もありますが、区民の皆様にとって、より良い事業を進められるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。では、事前配付資料「令和９年度予算・事業の方向性」をご覧ください。当部会でご意見をいただく部分につきましては、５ページから８ページになっております。地域活動協議会に対する支援事業、コミュニティ育成支援事業、区の広聴事業、広報事業の４つに絞っています。既にご覧いただいているかと思いますので、簡潔に説明させていただきます。まず５ページをご覧ください。地域活動協議会に対する支援事業です。地域における自律的な地域運営の核として、唯一性と準行政機能を有する地域活動協議会のもとで行われる活動に対する補助・支援を行うことにより、自治と行政との協働により地域課題の解決を図り、地域のまちづくりを進める、これを目的に行っている事業です。今年度の予算総額３，４１１万８，０００円のうち、地域活動協議会１１地域ございますので、１１地域への交付金合計が３，２０５万７，０００円、各種広報経費が２１万１，０００円。こちらは広報紙の特集面や啓発など、地域活動協議会の認知度向上に向けた各種経費でございます。地域集会施設移転に伴う経費とは、令和６年度に建て替えを行い、現在空き家になっているもと波除会館、こちらのアスベスト調査などにかかる経費となっています。活動の活性化に向けて、自律度の維持と向上の意欲が損なわれることのないような仕組みづくり、それと地域活動協議会自体の認知度向上が課題だと考えており、次年度につきましても、中間支援組織、いわゆる「まちづくりセンター」を活用した継続した支援で各地域間格差を縮減する取り組みと、認知度向上に向けた各種広報活動の継続を行います。なお、先ほど述べた予算のほかに、次年度につきましては、南市岡会館の建て替えに関する費用、上限

額６，２００万円が大阪市地域集会施設設置補助金として、市民局予算から南市岡地域へ交付を予定されております。続けて６ページをご覧ください。コミュニティ育成支援事業です。港区民まつりをはじめ、各テーマに沿った各種事業を区民主体で実施できるよう必要なコーディネートを行い、コミュニティづくりの推進に携わる人材の発掘・育成を行うとともに、地域文化の向上と地域コミュニティの活性化に繋げることを目的に実施している事業です。令和８年度予算総額１，２６０万７，０００円のほとんどを委託費として使用し、区民まつり、ふれあい音楽会、文化のつどい、春いちばんふれあいフェスティバル、わんぱくまつり、こどもパラダイスの６つの大きな事業と、バレーボール大会や卓球大会などの支援に使用しています。残りの４万５，０００円につきましては、委託事業者の選定にかかる経費となっております。６ページの③の課題です。多様な活動主体が互いに協働する豊かなコミュニティづくりをさらに進めていく必要がある反面、例年イベント内容が似通ったものになっていることや、協働する団体内の若返りなどが課題となっています。次年度の方向性としては、各イベントの実行委員会メンバーの見直しや拡充、メンバーの固定化を避け、新しいアイデアを取り入れられる制度の検討を行います。後ほど議題（２）で皆さんに改めてご意見を伺いたいと思いますので、よろしくお願いいたします。以上です。

〇武内総合政策担当課長　続きまして、私、総合政策担当課長の武内から、区の広聴事業と広報事業について説明いたします。まずは７ページ、区の広聴事業をご覧ください。まず①、目的は、港区役所が区政を進めるにあたり、日々電話やメールで寄せられる区民の意見や要望に適切に応じること、区政会議や各種アンケートなどを通して、区民の皆様に区政への参画を促すことで、安心して暮らせるまちづくりを推進するというものでございます。②、令和８年度、今年度の主な施策ですが、いわゆる市民の声としてお寄せいただいた意見や要望に対し、区役所としての考えを回答する際の郵送費、区政会議の運営、こちらも案内文の郵送費や議事録作成の委託経費などとして４０万円弱、そして市内２４区に共通する課題に関し市民局が一括して行う区民アンケートの費用、こちらは約７０万円、また、港区が独自に実施している区民モニターアンケートに関する委託費や郵送費などとして、およそ１５０万円の予算を組んで事業を進めております。左下③、課題といたしましては、近年、社会が複雑化、多様化する中で、区役所に寄せられる声も多岐にわたっていることから、迅速的確に対応すること、また、そのような多様なご意見をしっ

かりと区政に反映していくことが挙げられます。アンケートに関しては、ご承知の通り、個人情報、プライバシー保護の観点から、以前に比べますと回収率が落ち込み、それによって回答いただく方の男女比とか年代、お住まいの地域が偏ることにより、アンケート結果を多様な区民の意見としては扱えない状況に至っております。また、いわゆるカスタマーハラスメントへの適切な対応も、新たな課題として浮かび上がっています。それを受けた次年度の方向性ですが、港区独自に実施しているモニターアンケートを廃止する予定です。もちろん、私どもとしても手をこまねいているわけではなく、アンケートを実施する際に目立つ封筒で送る、QR コードを付けてウェブ回答にも対応する、あるいは短い時間でお答えいただけるよう設問数を減らすといった工夫を凝らすことによって、令和７年度は前の年度より２０ポイント高い５０％余りの回答率を確保できましたが、やはりどうしても回答者の属性が偏るリスクが否めないことから、来年度は実施を取りやめる方向で検討しております。なお、区政に対するご意見は、引き続き市民の声やみ・な・と改善箱できちんと受け止めるとともに、区政会議の場で委員の皆さんから多様なご意見を出していただけるよう工夫しつつ、その意見を区政に反映できるよう、より一層努力してまいります。区民の皆さんから寄せられた意見を、このように区政に反映しましたということ自体をしっかり広報することで、また区民から前向きなご意見をいただけるよう、広聴と広報の効果的なサイクル確立と広報の充実を図ってまいります。続きまして、８ページをご覧ください。こちらは広報事業の説明シートでございます。目的は記載のとおりで、様々な媒体を活用して情報を発信すること。②、具体的な施策・予算ですが、主に毎月発行しております広報みなとの編集・印刷・配布に関する費用で、今年度、令和８年度はトータルで１，７００万円弱です。毎月５万部発行しておりますことから、広報紙１部あたりの経費はおよそ２７円程度、そのうち４円分を広報紙に載せる広告収入で充てております。③、課題としては、行政から一方的に伝える広報から、区民の皆様にしっかり分かりやすく伝わる広報というのがとても大事であると感じています。特に区内全てのご家庭、事業所に広報紙を届けていくこと、増えている外国籍住民の方にも分かりやすく情報発信することが区の広報に求められていると考えております。それらを踏まえた④、課題を踏まえた来年度の方向性といたしましては、広報みなとに関しては、いわゆるお知らせの記事に加えて、区政にまつわるテーマを取り上げる特集記事の掲載回数を増やすこと、また、複数の外国語でも広報紙をお読みいただけるようなアプリの

導入を考えています。さらに、シティプロモーションの一環として、広報紙の特集記事を活用した観光リーフレットの作成や、様々な機会を捉えて、SNS の登録者数を増やす取り組みをより一層進めたいと考えております。説明は以上です。

〇西村議長　はい、ありがとうございました。それでは、この案件についてご意見ご質問を賜りたいと思います。どなたかございますでしょうか。副議長、何かございますかね。

〇松尾副議長　区民のアンケート、区の広聴事業に関してですが、アンケートの実施の方法で、区民まつりのスタンプラリーのような形式で、スタンプを押す場所や、クイズをする場所で、１個ずつアンケートしていくというのをすれば、楽しくやりながらアンケートも答えてもらえるというので、いいんじゃないかなと思います。それだと、モニターアンケートとか特殊なことをしなくても、自然にみんながスタンプラリーしながら絶対に１個は答えてもらうということで、楽しみも増えるんじゃないかなと思います。

〇武内総合政策担当課長　総合政策担当課長の武内です。楽しいご提案、ありがとうございます。今、松尾さん言っていただいたように、区民まつりの場でも、例えば広報とか、みなトクモンとかについては、ブースに来ていただいた方に色々ご意見を伺ったり、どうしたらいいでしょうというご提案をもらう予定にしています。ただ、この区民モニターアンケートというのは、福祉とか防災とか区政トータルについて、１８問ぐらいご意見をいただくもので、無作為抽出で２，０００名の方を選んで、その選ぶ時も男女比とか年代とか地域とかを鑑みて、その回答が区民の縮図となるようにやっているものなんです。そういうトータルの区民の意見ということのアンケートが、昨今、個人情報の関係とかで、なかなか答えていただきづらいということで、もうこれはやめてしまおうと。ただ、他の手段で、区民まつりの場を活用してということも含めて、ご意見は色んな場所で聞いていこうと思っております。こちら広聴の方で多少予算を減らす分は広報の充実に回して、しっかり聞いた意見をこういうふうに反映しますということも情報発信しながら、そういうふうに区民の意見を聞いてくれるんやったら、また意見言おうとか、そういう何かいいサイクルになればなと考えてます。ぜひですね、今度１１日の区民まつりではですね、おもろい港区ブースという名前で総合政策担当のブースを出すので、ぜひそちらに来ていただければありがたいです。よろしくお願いします。

〇西村議長　はい、ありがとうございました。他にご意見はないでしょうか。ご予算に関して大丈夫ですか。では、また後ほど質問の時間を設けますので、何かございましたらその際にご質問を賜れればと思います。それでは次に議題（２）について区役所より説明をお願いいたします。

〇五十嵐協働まちづくり推進課長　改めまして、協働まちづくり推進課長の五十嵐から議題についてご説明します。皆さんもご参加されたことがあると思いますが、大阪市の全２４区において毎年区民まつりが開催されております。港区でも先ほどからお伝えしていますように、次の日曜、１１日に第５２回目となる「区民まつり」が八幡屋公園で開催されます。先ほどご説明したコミュニティ育成支援事業の１つの委託事業として事業者を募集していまして、業務委託をしています。コロナ禍以降、毎年ちょっと変わり映えのない内容になっていまして、区政会議委員の皆様の新しいご意見、アイデアをいただければと考えています。では、事前配付資料の２つ目の１ページ目をご覧ください。現状と課題でございます。昨年の第５１回区民まつりの参加者が延べ１万１，０００人でした。区民まつりは、区から委託を受けた事業者が実行委員を募集をしていまして、その実行委員会でプログラムなどを決めています。特に目新しいアイデアも最近は出ていない状況で、例えばステージ発表と地域の模擬店、各種団体の出展がベースとなっています。ステージでは、文化のつどいなどに出ているキッズダンスであるとか、フラダンスなどが出演しているため、重複感が感じられるほか、みなとマルシェや、みなトクモンの出店ブースにおきましても、若干の出店の入れ替えがある程度でございます。お手元に今日配付をさせていただきました冊子ですが、今年度の事前配布冊子でございますが、こちらの方も毎年同じようなデザインでございまして、この表紙も、昨年はここに、区制１００周年と書いてあったんですけども、それが取れたぐらいのものになっている状況でございます。あとはプログラムであったり、体験コーナーであったりとか、そういったところも本当に毎年同じようなデザインになっています。それでは先ほどの資料にちょっと戻りますけども、２ページ目をご覧ください。昨年のアンケートの抜粋でございます。楽しかった催しは複数回答可能で、多目的広場の出店ブースがトップで、その次にキッズダンス、フラダンスの一部と続いています。楽しくなかったという方も１％存在をしている状況でございます。アンケートは、昨年は６３８名に回答いただいています。３ページ目をご覧ください。こちらもアンケートの抜粋ですけども、区民まつりを知ったきっかけと来場者の動態でご

ざいます。広報みなとと区のホームページを足しますと、半数以上を占めています。委託事業者の特設ページで知ったという方は、わずか５％にとどまっている状況で、SNS と合わせても１割強といったところでございます。情報発信の弱さが浮き彫りになっているところです。また、来場者の約７割が区内の各地域からの参加であり、やはり区民への情報発信、こちらにさらに注力する必要があると考えています。最後に４ページ目をご覧ください。こちらに、他区の状況を参考に記載をさせていただいています。例えば、運動会のようなものをされている区、屋外と屋内に会場を分散して開催をしている区、土曜日の夜からスタートさせていくる区、パレードなどを主体にしている区、など様々でございます。どの区も、毎年どういった形で区民まつりをするかということに頭を悩ませているところでございますが、港区民まつりについても、もっと活性化をどうすればできるかということで、本日委員の皆様の忌憚のないご意見とアイデアをいただければと考えています。ただし、いただいたアイデア、ご意見がいきなり採用されるわけではございません。まずは明後日は無理でございます。次年度以降に向けて改善のヒントにさせていただく予定でございますので、申し添えます。議長、以上です。

〇西村議長　はい、五十嵐さん、ありがとうございました。それでは、この件につきまして、何かご意見ご質問等ございませんでしょうか。はい、では、副議長、よろしくお願いします。いっぱいアイデアあると言うてはって。

〇松尾副議長　先ほど伝えていただいたデザインが魅力を感じないとか、特設ページの閲覧数が少ないとかいうことが言われてたんですけど、私としては、特にこのパンフレットに関しては、このままで十分じゃないかなと正直思います。有名なアーティストが描いたりとか、有名なキャラクターが出たりしたとしても、それで大きく人が増えたりということじゃなくて、中身で楽しかったからまた来ようかとか、口コミの方が多くなっていくんじゃないかなと思うので、パンフレットにばっかりこだわるとかよりは、中身を充実させる、次の楽しみで来てもらうというところに注力した方がいいのかなと思います。それと、特設ページの閲覧数とか、区役所のホームページのパーセンテージが低いとはおっしゃってたんですけど、自分の中ではかなり多いなと正直思います。僕が何かイベントへ行くにしても、特設ページを最初から見に行くというのもあまりないですし、区役所のホームページも、本当にごみ出しで分からない時とか、本当にもう仕方なく、もうそこしかないなとい

う時にしかそうそう開かないようなものになってるんで、それよりは、広報みなとで十分伝えられているなら、それも十分いい宣伝効果になっているんじゃないかな。他の媒体でも見られているなら、そこは十分納得して、他のところに注力してもらった方がいいのかなと、自分の中では思います。以上です。

〇西村議長　副議長、ありがとうございます。貴重なご意見ですね。後藤委員、いかがでしょうか。ご意見賜れますでしょうか。

〇後藤委員　はい、すみません。今お話をお聞きして、感じたことをちょっとお話をさせていただきます。パンフレットに関しては、私はこの印象で別にそんな悪くはないとは思ってるんで、これを大きく変えるとかいうのは思いません。ただ、アンケートの内容を見てみますと、フラダンスとかキッズダンス、多目的広場の出店のブースというのは伸びてるわけです。これは人気があるから、やめる必要はないと思います。だからマンネリと言っても、人気があるのはそのまま来てもらえるんだから、それは残したらいいんで、逆にちょっと少ないところを考えたりすることをやればいいんではないかなと思います。それで、副議長さんもおっしゃってたと思いますが、例えばスタンプラリー。私、前、港区の散歩なんかで各チェックポイントをチェックしながら行くとポイントが集まるようなことがあったと思うんですけど、例えば、スマホを持ってる人、今たくさんいますから、スマホを持ちながら、AR も兼ね合わせてやっていったら面白いと思うんですが、それでポイントをやっていったり。昔やったら、私たちの天保山公園にね、ピカチュウがようさんおるって、これでいっぱい集まった。そんなんがあるんで、そういう AR と組み合わせて、言うたら、架空のこの子、「みなりん」がいて、そこでポイントゲットとかやりながら、周りをできるだけ散策してもらえるように工夫するのと、もう１つ私が思ったのは、港区って海の横です。特に築港ですが、もうすぐ横がしょっちゅう船が出たりするわけですが、船との連携ってないんですかね。外から港区を見ようとかね。だから何か船と繋げて、海との接点というのを入れたりしたら面白いかと。ちょっと無理かもしれませんが、思いつきで申し訳ないんですけど、そういったようなところを入れたり、AR を入れたりしながら、工夫すれば楽しくなるんではないでしょうか。もう１つは、何か有名な人がポンと来る言うたら、ダーッと集まってくる。そういうのを狙うというのも手かなとは思うんです。港区出身の有名な人を連れてくる。あまり関係がなくなってくるとやりにくいとは思うんですが、

その辺ぐらいは今思いついたことですが、実現できるかどうか分かりませんが、ちょっとお願いします。以上です。

○西村議長　後藤委員、ありがとうございました。

○野村委員　すみません。いいですか。失礼します。港区民まつりですが、私も長年ずっと港区民まつりには関わって参加させていただいてるんですけども、さっきここにも書いてあったように、昔は町会ベースで、各町会が、みんなでそれぞれが色んなことを考えて一生懸命やっていたんですが、今はその町会がベースじゃなくて、地活協がベースになってます。だからその辺で、地活協はもうブースで物を売ったりしているし、そしたらみんな、よそから来た人は、何か食べるとなったらそっちに行って、舞台の方はほとんど見てられないというのが実情だと思います。港区女性会で今回来させていただいてますし、女性会としては毎年踊りを練習して踊ってるんですが、磯路なので、磯路も毎年、磯路として舞台に出させていただいてて、おっしゃるように見ていただく方、ほんと少ないです。だから皆さん、地活のブースですか、食べるところ、あそこにはたくさん行ってはるねんけど、もう１つ、八幡屋公園の方の、そちらのステージの方は、やはりその踊ってる人とか関係者だけになってしまうので、昔みたいな、各町会が一生懸命、１つのことに対してやるとか、そういうことも何かあればいいですけど、今は舞台でも１１地域がみんな出てませんから、やはり集まりはちょっとどうなのかなと思います。磯路でも町会長の皆さん来てはれへんし。だから、もっと人数をって言われても、今関わってはる人、関係者だけが来てるというところが多いのかなと思って。あと、よその団体が出てはる広場の方へ行けば、若い人がたくさんいてはると思うんですけど。だから運動会、何かゲームじゃないけど、競争するとか、そんなことがあれば、皆さん各町会が出てきてくれはるんちゃうかなとか、ちょっと思ってます。すみません。

○西村議長　野村委員、ありがとうございました。じゃあ、せっかくなんで私から。港区と大正区はやはり比較してしまうんです。不動産やってますんで。大正区役所の空き家の登録員もやってるもんですから。大正って割と、オール大正みたいなイメージで、区民の人が集まりやすい土壌があるんかなと。沖縄出身の方がいてはったりとか、４割ぐらいというふうに聞いてるんですけど、それがやはり港区ってちょっと分断されてるかなと。弁天は弁天、築港は築港みたいなところがどうし

ても感じるところがあって、これ多分オール区民のためのお祭りなので、今、野村委員がおっしゃっていたように、地域で分断されているところがあったり、その若い人たちが、さっきの予算の話でもあったと思うんですけど、なかなか担い手が育っていないというところ、ここが１つ原因であるのかなとか、お祭りなんでおもろいことをやっていけばいいのかなというのもありますし、逆に会場が広すぎるのかもしれないなと。この間、新潟の魚沼にちょっと行ってきたんです。たまたま降りた駅前で、その地域のお祭りをやってたんです。内容はこのパンフレットとほぼ同じような形で、舞台があって、キッチンカーが来てて、地域の人たちがお店を出すと。ただ、もう駅前の広場のギュッとしたところでやってたんで、ものすごい賑やかに見えるんです。どうしても広がってしまうとね、分散化しちゃうから、自分の興味のあるとこだけ行って帰るとか。あとは、結構若い住民の人たちも、特に私も１件今度契約して、若い人が弁天から八幡屋に移ってきはるんですけど、新しく来る人とか、若い世代の人たちにどうやって PR するのもそうだし、担い手になってもらえるのかというところが、１つポイントになってくるのかなという気がします。過去、区民まつりも、私も、災害の、ちょうど台風２１号の前だったと思うんですが、BCP をテーマにした時の区民まつりでは、私の所属する中小企業の会でブースを出して、BCP 対策って知ってますかというのをやったり。それは防災を１つベースにしてたと思うんです。その年だったと思うんですけど、さんまを、結構焼いとったの覚えてるんです。むっちゃ人集まっててすげえなと。ああいう、さんまね、今高くなってきてるんで、どこまでできるかですけど、後藤委員がおっしゃったように、海近いけど、魚とかそういうのあんまりここ絡み無いなとか、天保山まつりもあるんでというのもあるかもしれないですけど、例えば海遊館の魚、ちょっとこっち移動してきてとか、何かそういうのできるかな。海遊館の魚は食べたらあかんと思うので観賞用としてとか、みなトクモンもありますし、何かもうちょっと港区らしさとか。僕はちょっと逆に魚沼を見ててがっかりしたのが、あんまり魚沼っぽいのがないな、みたいな感じだったんです、お米とか。やはりそこが１つベースで、市民でもその町の町民でもないので、外から来た人間からすると、内容的にはその町のものなのかな。どっちかというと、舞台で小学校の子どもたちが発表するのをみんなが見に来てるというのは、素晴らしいなと思ったんですけど、どうしても会場が広い、コンテンツが広くなっちゃうと、ばらけてしまうのもあると思うんで、おっしゃったように、何かスパイスみたいなもの、いわゆるほんまに有

名人連れてくるのかとか、そのさんまがええ事例かもしれませんけど、あの時すごいなと思いました。さんま、一気になくなってたんで、みんな一生懸命焼いてはったんです。そこら中、煙モクモクやったの覚えてるんですけどね。でもあれも多分、それぞれの町会の人たちが一生懸命考えてやられたことやと思うんで。

○野村委員　あれ、老人会。

○西村議長　あ、そうなんですか。すごかったですよね。あれ、ええと思って。でも何か、例えば世田谷とかやったらボロ市というのがあるんですかね。古いものを出したりとか、軽トラの荷台で軽トラ市って九州の方でやってたりとか、何かしらそういうアイデアをうまく活用して、お金かけんでもできることがあるような気がするので。そういう目玉となるものを何か１つ放り込んでいく。もうちょっと会場ギュッとしてもいいかもしれないし。何かそういうところでできれば。どうしてもね、天保山まつりもありますしね。ばらけちゃうのもあるかもしれないんですけど、オール港区というのが１つ大事かなというふうに思ったので、そんなんができればいいかなと思ってます。以上です。他ご意見ありますか。はい、お待たせしました。

○松尾副議長　すみません。ちょっと議長の逆を言ってしまうところもあるんでしょうけど、僕は、港区が八幡屋公園でやってるということもあるなら、もう商店街も含めてしてしまおうというので。どうしても商店街って、徐々に寂れていくような感じになってしまうので、それでやはり頑張ろう、頑張ろうとしているところで、八幡屋公園では盛り上がってる、でも商店街にはやはり人は行かないというのであれば、商店街も一緒に盛り上げてしまおうというので、商店街も含めてイベント会場とするというのと、港区という地域を使って、トラックとか輸送もあるので、トラックに乗る体験をしてみるとか、工業系もあるので、ネジならネジ作ってる方が来て、こういうのを作ってますで、ネジを投げるイベントでも主催してもらってというので、こういうところでこういうものを作ってますというのをアピールしてもらったりとか。行政関係がどうしても多くなってしまうので、それよりも民間の方に参加してもらう、商業として参加してもらうというのがいいのかなと思います。やはり民間の企業さんは、一生懸命営業したり、広告出したりというのを必死にやって、なかなか人が集まらなかったりするんですけど、こういうイベントってすごい、今まで人を集めてるという実績もあって、そこに参加できる、そこで宣

伝できるってなるとすごいアピールになるので、そこで参加してもらって、またその会社ごとの色を見せてもらったら、オリジナルのものがどんどんできてくると思います。やはり行政だけだと硬くなってしまうところもあるんですけど、そういう会社を入れることで、もっと柔らかくなるんじゃないかなと思います。他に、大きい紙を用意して、そこに落書きをしてもらうというのも１つあるのかなと思っています。公園の周り一面に落書きスペースを作って、そこでいっぱい色んな人に落書きしてもらって、ずっと人が来るたびに、子どもたちや大人たち、みんなで描くことで１枚の大きな絵ができるというので、思い出にも残りますし、これ自分が描いた絵やでというのもアピールできますし、みんなで作るというので、なかなかできる機会ないと思うので、そういうのもありかなと思います。以上です。

〇西村議長　はい。副議長、ありがとうございました。他ご質問、ご意見等ある方いらっしゃいますでしょうか。大丈夫でしょうか。それでは定刻の時間も近くなってまいりましたので、これで本日の議事を終了したいと思います。委員の皆様のご協力のおかげでスムーズに進行することができました。ありがとうございました。それでは、区役所にお返しします。

〇田中協働まちづくり推進課長代理　西村議長、議事進行ありがとうございました。委員・関係者の皆様には、円滑な会議運営にご協力をいただきまして、ありがとうございました。委員の皆様におかれては、１０月２３日金曜日午後７時より全体会を、本日と同じ区役所５階会議室で開催いたしますので、ご出席のほど、どうぞよろしくお願いいたします。次の全体会では、前回に引き続き、港区将来ビジョン策定についての意見交換を行っていただく予定ですので、よろしくお願いいたします。以上で、港区区政会議安心安全・まちづくり部会を終了いたします。